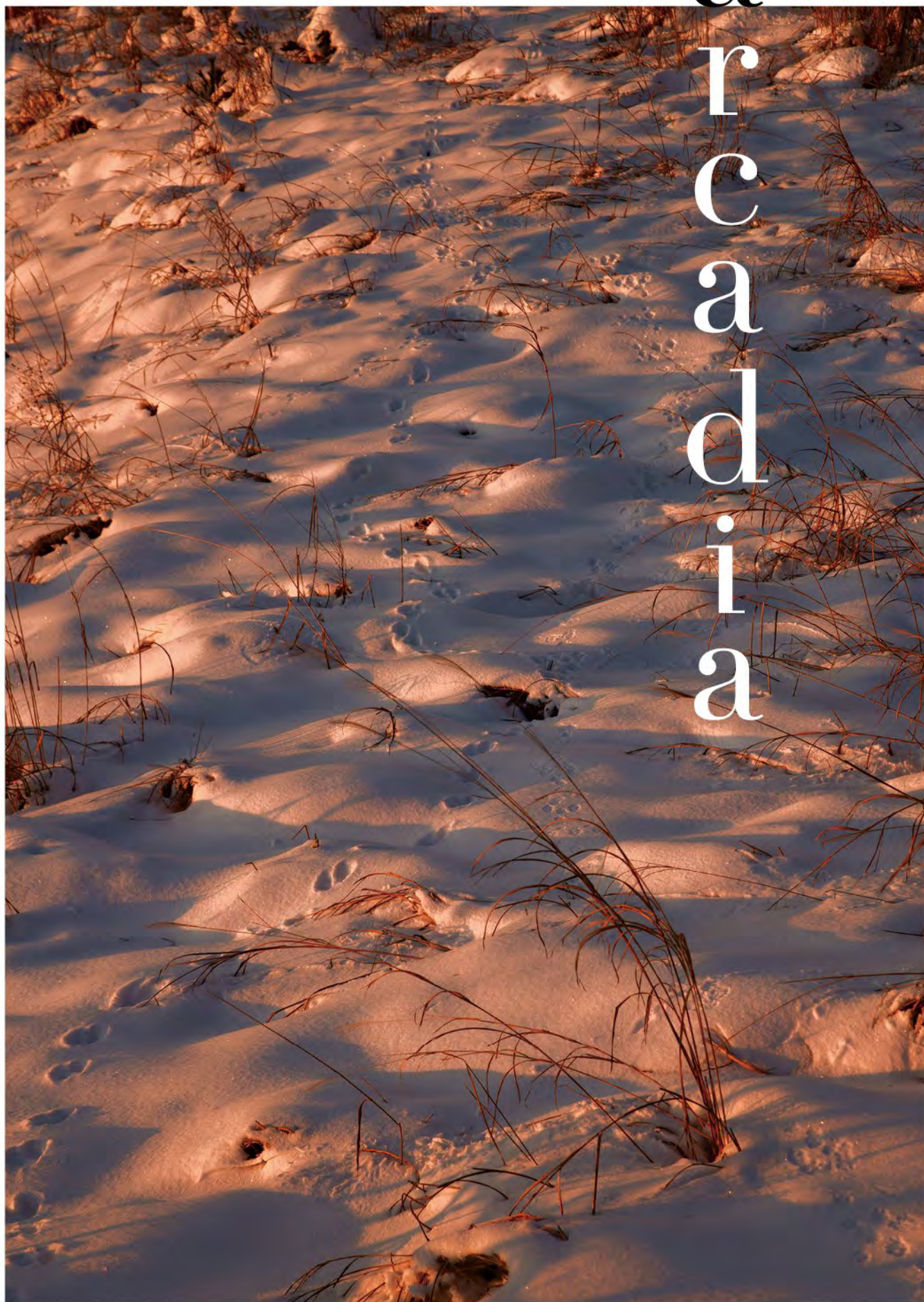


a
r
c
a
d
i
a



三淵溪谷

MIHUCHI KEIKOKU

皆さん、季刊誌 arcadia の創刊号は手に取っていただけましたか。創刊号について、2市2町の各地で様々な反響がありました。

やはり、隣のまちに住んでいても知らないことってたくさんあるんですね。少しづつ、でも確実に、この地域の魅力を知ること。

そのお手伝いができればと改めて感じました。

今回、OMIKIプロジェクトの特集で、長沼酒造とタッグを組んでOMIKIを創りあげていただいた「大友昇平」さんのインタビューを掲載しています。

「変わらなくていい。」

そう言ってくれました。

日々の中で変わっていくことはたくさんあるけれど、変えなければならぬこともたくさんあるけれど、

私たちが住んできた「アルカディア」は変えたくない。

その「アルカディア」とは何なのか。

私たちは、この季刊誌やOMIKIプロジェクトなどの活動を通して、

それを確かめていく作業をしています。

皆さんにも私たちと一緒に、確かな「アルカディア」を

探していただけたらうれしいです。

季刊誌「arcadia」編集部

CONTENTS

02 特集1 三淵溪谷

水を根源とする神秘の里
受け継がれる信仰

08 特集2 OMIKIプロジェクト

水と空気と人と 長沼合名会社
黒獅子を描く 大友昇平

14 やまがたアルカディア観光局に
期待すること

原石を磨く 置賜は魅力の宝庫

16 お店紹介

長井市内・長井の食

18 2市2町フォトスポットマップ

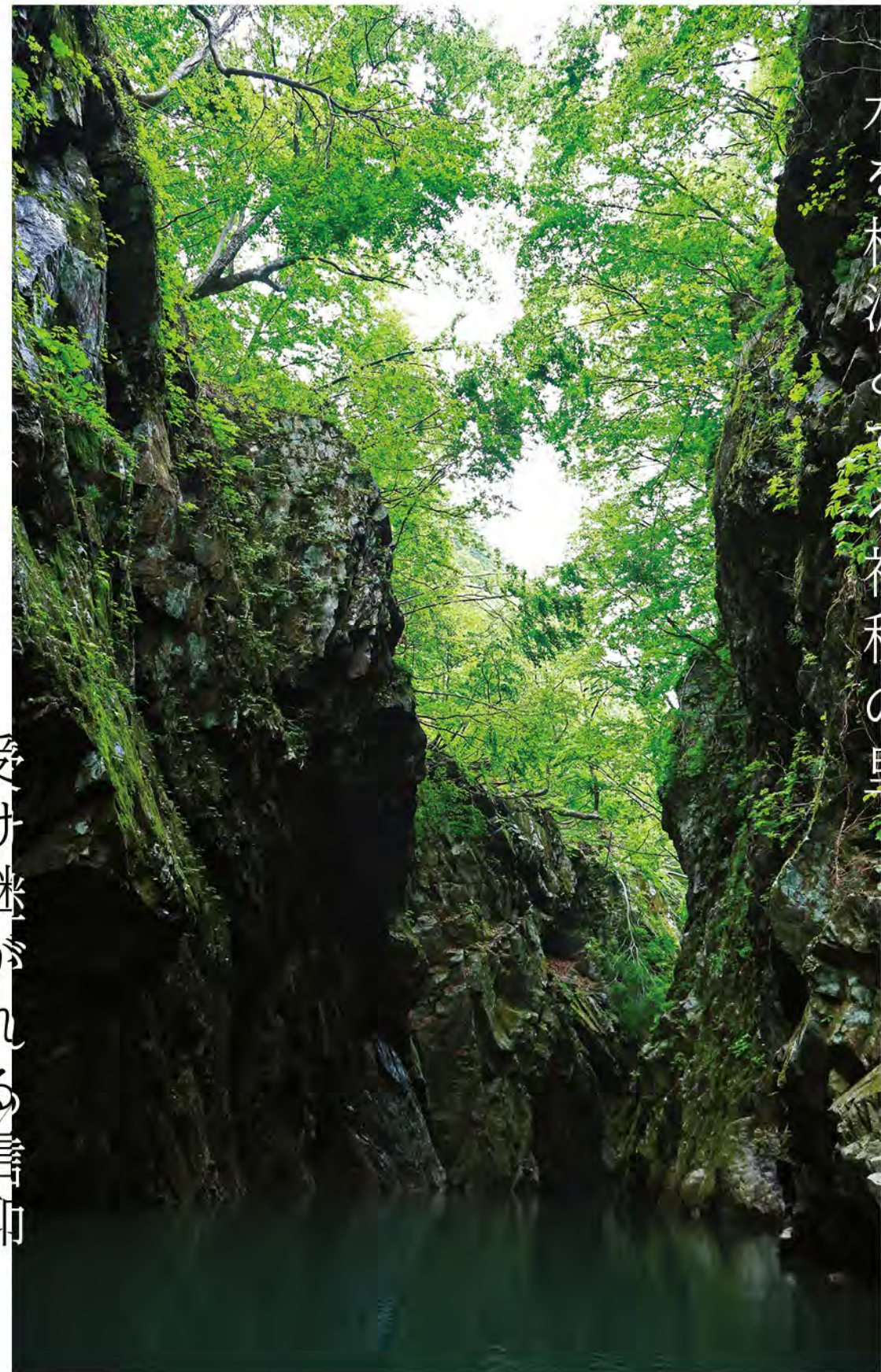
ファインダー越しに見る
東洋のアルカディア

Cover STORY

朝焼けに照らされ雪の上に動物の足跡が浮かび上がった。近づいては離れ、また近づいては離れ。日の出と共に変わる雪の色や影が、ここに暮らす動物たちの命を感じさせた。12月上旬のこと。ここには雪があった。



水を根源とする神秘の里



受け継がれる信仰

龍が住む太古の谷

長井市の西部にそびえる朝日山地は、地下の冷えたマグマが地殻変動で隆起して生まれた古い山で、主な岩質は花崗岩である。隆起の度にひびが入り、風化侵食によって谷や川ができていった中の一つが三淵溪谷だ。三淵溪谷は、自然科学的に興味深い独特な景観をしており、通常、谷の断面は傾斜がついたV字型になるが、岩質が硬いため、崖が垂直に切り立ち、断面は函状になっている。また、河川も、蛇行ではなく、直角に曲がる雷光型の形状で、大量に雨が降ると、荒々しい流れへと変わる暴れ川でもある。大雨が降る度、里に鉄砲水が流れ、甚大な被害を及ぼしたことから、人々は「三淵には龍神が住む」と信じてきた。

野川の清流

三淵溪谷を源流とする野川は、長井の西から東へと流れて最上川に合流する。太古の昔から、山を削って土砂を運び、ここに扇状地を作り、人が住む大地を作った長井の起源となる川でもある。また、三淵溪谷を占めている花崗岩は、花崗閃緑岩で、結晶の粒が大きく、成分

が水に溶けだしにくい岩石である。ゆえに、流れる水は硬度が低い軟水だ。特に長井の地下水は、超軟水と言われるほど柔らかな性質を持っている。

修験者が集う聖域

龍神が住む三淵は、多くの修験者が集まる場所であったと伝えられている。三階滝を経て、三淵溪谷を目指し、尾根伝いに湯殿山へ向かう出発点として山岳信仰の聖域だった。度々、水害に悩まされてきた長井の町場では、そんな聖域に対しての畏敬の念から、水神を祀る石碑などが建てられた。その中でも、治水を祈願するために、野川と最上川を三角に結ぶ段丘状の高台に、延暦21年（801年）、總宮神社が創建された。ここには、悲哀の姫の伝説と黒い獅子の舞いが伝承されている。

三淵に身を投じた 姫の伝説

平安時代後期、陸奥の豪族である安倍貞任が、長井を戦の要所と見て、自分の娘である卯の花姫を遣わし治めさせていた。気丈で、武芸に長けた美しい姫は、一刻も早く、戦を終わらせ



MAP & INFORMATION

(特) 最上川リバーツーリズム
ネットワーク(野川まなび館内)
〒993-0042 山形県長井市平山 2743-4
TEL 0238-87-0605
<https://manabikan.wixsite.com/boat>



総宮神社
〒993-0087 山形県長井市横町14-24
TEL 0238-88-3348
<https://www.sohmiya.org/>



ながい百秋湖ボートツーリング

～絶景・三淵溪谷通り抜け参拝～

四季折々に美しい姿を魅せる「ながい百秋湖」
神秘的で幻想的な空間に包まれた日本屈指の絶景・三淵溪谷

長井ダム湖「ながい百秋湖」は、四季折々の雄大な自然のパノラマが広がり、その上流部には、「三淵(みふち)」と呼ばれる神秘的な溪谷があります。その溪谷は、高さ50mを超える断崖絶壁が約250m続き、川幅3～5mの非常に狭い溪谷をボートで巡ります。

溪谷の入口は、広大な湖面の風景から大きく姿を変え、崇高な雰囲気漂い、溪谷の中は、迫り来る断崖が訪れる者を圧倒し、したたる岩肌を間近に感じることができる神秘的な空間に包まれています。またこの溪谷は、約1,000年前の「卯の花姫伝説」が伝わる神聖の地で、伝統神事「黒獅子舞」起源の場所です。一度足を運べば、この場所に魅了され、きっと何度でも訪れたいくなるでしょう。



期間 / 5月～11月上旬
乗船時間 / 60分間
料金(参加協力金) /
大人 2,000円 小学生以下 1,500円
お申込み・お問い合わせ先 /
(特) 最上川リバーツーリズムネットワーク
TEL : 0238-87-0605



雨薫る幻想の町 黒い獅子が舞う

常世の平穏を祈り
水神が舞う

黒獅子の起源は、康平6(1063年)ごろと言われ、源頼義が戦勝祝いで獅子舞いをさせたことが始まりとされている。それが後に、三淵の龍神信仰や卯の花姫の伝説と合わさり、黒獅子舞いとして長井に広まっていった。獅子でありながら、顔に鱗の名残があり、髭を携え、蛇のような長い体をしているのは龍神の化身である

たいという思いを抱いていた。しかし、その隙を敵将に利用されてしまい、情報を与え、長井が攻められることになってしまった。責任は自分にあると、心を痛めた姫は、三淵溪谷へ身投げしたという物語が「卯の花姫伝説」として残っている。
亡くなった後も、里の無事を案じていた姫の御霊は、三淵に住む龍神と融合して獅子へと変化した。それが、現代に脈々と受け継がれている長井の伝統神事「黒獅子舞い」である。

雨を降らせる黒獅子

総宮神社に伝承されている黒獅子頭は、目が飛び出て、鼻が歪んだ、わざと醜い造形をしている。これは、獅子が山から里に降りてくる際、川が濁水していたので川原を歩いていた。その

からで、また、陰陽道の五行である水を司る色が黒であることから、黒色の獅子となっている。獅子を操る獅子連が身につける御衣は修験者の装束、警護(警固)が持つ棒が錫杖(しやくじょう)を元としていることから、修験の聖域である三淵溪谷と深い関係にあることが窺える。
一年に一度、姫の祈りと共に、黒獅子が里へと降りてくる。長井の人々は、この一年、無事に過ごせたことや作物の実りに感謝し、獅子を迎え入れ、生きる喜びを分かち合う。脈々と受け継がれている伝統を遡っていくと、神秘的の谷とそこを起源とする水との深い関わりがあることを感じられる。
※由来、伝説には諸説ある。

時、茨で顔を傷つけてしまったことに由来し、痛みの表情を彫り込んでいるからである。
顔を傷つけて以来、黒獅子は、雨を降らせて、川の水を増やし、泳いで降りてくるようになったと言われており、不思議なことに、長井で黒獅子まつりが行われる前には、必ずといっていいほど雨が降る。雨が上がると、お囃子にのって黒獅子の舞いが始まる。



P06上: 長井市重要文化財 寛文11年(1671年)改めの獅子頭
P06下: NPO法人最上川リバーツーリズムネットワーク 代表理事 佐藤五郎(ながい百秋湖ボートツーリング運営団体)

やまがたアルカディア観光局_お知らせ

OMIKIプロジェクトについて

私たち山形県 長井市・南陽市・白鷹町・飯豊町が参画する、地域連携DMO(一社)やまがたアルカディア観光局では、東洋のアルカディアと呼ばれる当地域のお土産開発プロジェクトの一環として、日本独自の文化である日本酒を通して世界に当地域を発信すべく、当地域の酒蔵と世界的に著名なグラフィックアーティストがタッグを組み、地域の神社に酒造りの成功をご祈禱していただいた上で、オリジナルの日本酒を開発。観光局のお土産として販売する「OMIKIプロジェクト」を進め、世界に「SAKE」のハイブランドとして「OMIKI」を販売・展開・プロモーションしていくプロジェクトを進めています。



南陽市
東の麓 × Gravityfree
純米大吟醸 特別栽培米 つや姫 精米歩合: 40% 酵母: 山形酵母 / 一升瓶(桐箱入り) / ラベル和紙: 白鷹町深山和紙2枚貼り / 木箱: 東の麓特製桐箱



白鷹町
加茂川酒造 × Tenhundred
純米吟醸 出羽の里 精米歩合: 55% 酵母: 山形酵母 / 一升瓶(桐箱入り) / ラベル和紙: 白鷹町深山和紙2枚貼り / 木箱: 特製桐箱



飯豊町
若乃井酒造 × DRAGON76
純米大吟醸 出羽燦々 精米歩合: 50% / 一升瓶(桐箱入り) / ラベル和紙: 白鷹町深山和紙2枚貼り / 木箱: 特製桐箱

詳しくはやまがたアルカディア観光局ECサイトをご覧ください。
<https://tour.arcadia-kanko.jp/>



水と空気と人が 一体となって生み出される



そんな理想とする酒造りに、この長井の地は適しているという。「長井の地下から湧き出る水は先代から引き継いだものよりも綺麗な酒、美味しい食事と一緒に楽しめる、料理の邪魔をしないお酒を造るということだ。」

現在、その精神と酒造りを引き継いでいるのが、長沼伸行さんと真知子さん。2人が目指すのは、10代目惣右衛門から酒造りが始まるのだが、きっかけは、当時、長井町に造り酒屋がなく、莫大な費用をかけて仕入れていたことに疑問を持ち、それまで経験がなかったのにも関わらず、酒造りを始めたことにある。

チャレンジ精神を受け継いだ
若夫婦の理想への追求



「酒造りは、自分たちだけではできません。土地が豊かなこと、水が豊富なこと、それらがあるから米を育てることができる。そして、米を育てるためには人がいなければいけない。自然と人が一体となることで、ようやく私達が酒造りをするこ

神様の元へ感謝の気持ちを

超軟水で、臭みや癖がなく、とても柔らかい。だから、仕込んだ酒は優しくなるんです」と語る伸行さん。「酒造りにとって水は欠かせないもの。その仕込水を手に入れるために、蔵によっては、わざわざ山に汲みに行っているというのに、ここでは蛇口を捻るだけで溢れ出てくる。こんなにも贅沢なことはない」と語る真知子さん。恵まれた環境への感謝を常に持ち、丁寧な仕事を徹底して行っている。



なが ぬま ごう めい がい しゃ
長沼合名会社

杜氏

長沼伸行 / 長沼真知子

SHOHEI OTOMO

置賜地方の神社と日本酒、そしてアートが会う〈OMIKIプロジェクト〉。長井市では、長沼合名会社とイラストレーター大友昇平氏が、共に至高の一本を創り上げた。ものづくりに直向きな両者が出会ったことで起きた化学反応は、長井市を体現化した逸品を生み出した。それぞれに思いを語ってもらった。



とができる」と語る真知子さんは、四方を山に囲まれたこの地で、夕陽が沈み、四季で色が変わる山の様子を見る度に、自分たちは自然の中で生かされていると実感すること、だからこそ、下手な仕事はできないと、いつも気を引き締めているのだそうだ。長沼さんご夫婦の言葉で、特に印象に残ったのは、「綺麗な酒を造りたい」ということ。口当たりがいい、飲みやすい、切れがある、日本酒の美味しさを表す言葉はたくさんあるが、「綺麗」と表現された2人の根底にあるのは、まさしく、土地の恵みや携わってくれている人達への感謝である。

最後に、「元々、お酒は神様のためにあったもので、自然の恵みへの感謝を形にしたものでした。〈OMIKIプロジェクト〉を通して、そのことを思い返すきっかけになってくれれば嬉しいですね」と口にした。

今回、長沼合名会社が仕込んだ純米大吟醸「惣
邑」。そのラベルをデザインした大友昇平さんに、
長井について、ラベル絵について語ってもらいま
した。

長井を訪れたきっかけは？

知り合いに誘われてなんですが、それまで、長
井市のは全然知らなくて、きっかけが無い限
りは訪れることはなかったですね。

仕事柄、海外を転々としていて、どこの国も楽し
いんですけど。個人的には、食や温泉が好きなので、
日本に帰ってきた時には息抜きに求めちゃうんで
すよ。そうしたら、ここ（長井）は、食が豊かで、温
泉があって、四季の変化に富んでいる。日本の全て
を味わえる場所だになって、来て思いましたね。

訪れてみての印象は？

食えることが好きなので、長井で色んなものを
ご馳走になっているんです
けど、全部が美味しい。そ
れに、食と酒が合うなって
思います。同じ土地のもの
だからマッチングするんで
しょうね。その土地で取れ
た野菜を料理して、その土
地で作られた日本酒で頂く、
こんなに豊かで贅沢なこ
とってないですよ。

やっぱり日本人だから、
土の上に生きていることが
しっくりくる生き物なんで
すよね。土地の野菜を食べ
て、お酒を飲むだけで、そ
れまで抑圧していた内に向
かうベクトルが、大地に溶
けていって、土地と一体化
していく、そんな感覚を味
わえるんですよ。



ラベルのデザインは、どうして黒獅子を？

長井を訪れる前は、色々と考えていました。縄
文をモチーフにしようとか、銭湯の壁画のよう
なものとか。ただ、2年前からお邪魔するようにな
って、長井で過ごす内に、自然と黒獅子になっ
ていきましたね。

自分の中でも、絵を描くスタイルが変わってき
て、若い頃は、ただひたすらに、下描きもせずに
思いっくまま描いていたんですけど、最近は、考
えを巡らすことに多くの時間を割くよう変わって
きたんですよ。色んなアイデアを何個もストック
して、何年も温めて置いたりするんですが、それ
らが繋がる時があるんです。長井に来た時も、自
分のアイデアと発見したことが段々と繋がって

いって、方向性がフォーカスされて、気づいたら
「黒獅子を描く」ってなっていましたね。

黒獅子の印象は？

そもそも、獅子のイメージは初売りのセールの
時に現れる赤色の獅子でしたから、長井の總宮神
社で最古の獅子頭を見た時、それまでの概念が覆
るほどの衝撃を受けましたね。目が真っ赤の獅子
を前にして、強さに圧倒されたというか、恐れを
抱いたというか、高次的で人間の遙か上の存在に
見透かされている感覚でしたね。

ここで、脈々と受け継がれているんだ、深さが、
重みが違うなって思いましたよ。それが、長沼さ
んの酒造りや長井で出会った人達と自然と繋がっ
ていったんですよ。

長井に期待することは？

部外者の自分が言える立場ではないですが、こ
のままで十分だと思います。

多くの人が来て、長井の良さを知ってもらいた
いですけど、変に観光地化するのは止めて欲しい
ですね。色々な国に行きましたけど、職やお土
産品が乱立しているのは、確かに賑やかで楽しい
かもしれないけど、作務的なところに興ざめして
しまうんですよ。

そうじゃなくて、この土地が持っているもの。
長井には、昔の日本の里山の風景だったり、古い
建物だったり、食べ物やお酒と本当に良いもの
があります。それが最高なので大事にして欲し
いです。



長沼合名会社 × 大友昇平 OMIKI

惣邑 酒未来 純米大吟醸 斗瓶取り／一升瓶（木箱入り）／ラベル和紙：白鷹町深山和紙
の2枚貼り／木箱：山形県産の木材を「せせらぎの家」が加工

Shohei Otomo / 大友昇平

1980年東京生まれ。美術大学で油絵を学ぶが日本の美術界の在り方に疑問を感じ、画材
ではなく文房具であるボールペンを主なツールとしてイラストを描き始める。Carhartt
やSONY、Nike、adidas、Google等、国内外のさまざまな企業とのコラボレーションを
する傍ら制作したオリジナル作品を世界各国の展示会で発表する。現在は神奈川県とメ
ルボルンに拠点を移し作品を制作している。

INSTAGRAM: shohei_otomo

長沼合名会社

大正5年創業。土地が豊かで水が豊富
な長井市。自然に囲まれた長井市で全
て手造りで醸しています。

〒993-0086 山形県長井市十日町1-1-39
TEL:0238-88-2007 FAX:0238-88-2087
https://suumura.com/





誰かではなく 自ら第一歩を 踏み出す



(一社)やまがたアルカディア観光局
戦略会議委員

堀江守弘氏

MISSION

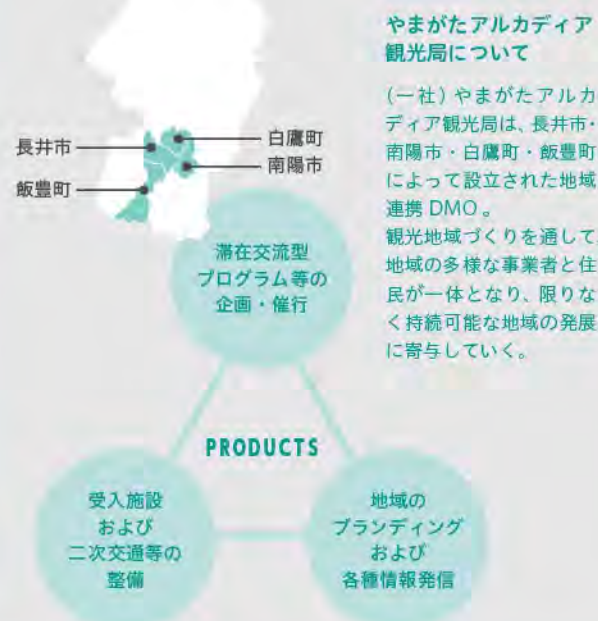
東洋のアルカディアを子どもたちへ
私たちは、この地に住む人、働く人、訪れる人とともに、精神的にも経済的にも幸福度の高い地域をつくりあげ、次世代につないでいく。

VISION

日本最強のローカル
豊かな風土、持続可能なコミュニティ、
いつでも帰れる、みんなを迎えられる心のふさとやまがた
緑や花に囲まれた、美しい里山風景。人々が行き交い、まちは住ま
う人の笑顔に包まれ、活気に満ち溢れている。
住む人、働く人、訪れる人は、「東洋のアルカディア」と呼ばれる
この地に想いを馳せる。
この地に暮らすことを誇り、100年、はるか先まで続く「日本最強
のローカル」を目指す。

BRAND CONCEPT

やまがたアルカディア～新たな自分に出逢える郷山～



やまがたアルカディア
観光局について

(一社)やまがたアルカ
ディア観光局は、長井市・
南陽市・白鷹町・飯豊町
によって設立された地域
連携 DMO。
観光地域づくりを通して、
地域の多様な事業者と住
民が一体となり、限りな
く持続可能な地域の発展
に寄与していく。

原石をブラッシュアップ 置賜は宝の里
一つ一つを積み重ねて 地域の魅力を発信する

飯豊町出身で東北大学を卒業後、スウェー
デンにスキー留学の経験を持つ堀江守弘さん。
現在は、故郷に戻り、「スロービレッジ(飯豊
町)」「シックス・ダイニング(南陽市)」の経
営をしている。やまがたアルカディア観光局
のメンバーの一人でもある堀江さんに、故郷
への思いや観光局について伺った。

堀江さんが思う飯豊町の魅力とは？

力強く生きていく力がある場所だと思います。
表面的には、人口や商店の減少、昔と比べ
賑わいがなくなったなど、置賜の中でも最も
人口が少なく過疎化の進む町だと思われるか
もしれません。でも、東京では、少しの雪が
降っただけで交通が麻痺し、生活が困難にな
るのに対して、飯豊では、たとえ大雪が降ろ
うが、営みが止まることはありません。きつ
と、自然が身近で、その厳しさも、与えてく
れる恵みの大きさも知っているからなん
でしょうね。ここは、生きるための豊かさを獲
得できる場所なんだなと実感しています。

地域の魅力を発信するためにどんな活
動を？

—— 地域を離れた自分だから気づける視点でやれ
ることを展開しています。

—— アルカディア観光局に期待することは？

この組織がなければ出会えない人達と繋
がることができました。同じような志を持った
人達が集まったことで、新しいことが起きる
兆しがあります。ですが、まだまだ組織とし
て堅苦しいところがあり、動き出せていない
ことが多々あるとも感じています。恐らく、
一気に変えることは難しいと思いますが、小
さなことを一つ一つ積み重ねていくことで、
大きな変化に繋がるであろうと、自分も含め、
それを可能にする組織とメンバーであると期
待しています。



PROFILE

堀江守弘(ほりえ もりひろ) 1981年飯豊町
生まれ。東北大学を卒業後、スウェーデンに
留学。働きながらスキー選手として活動。現
在、故郷に戻り様々な事業を展開。「エイチ・
アンド・カンパニー株式会社」代表取締役。

INFORMATION

見る・触れる・体験する！

やまがたアルカディア観光局では、置賜地方の豊かな風土と奥深い文
化が感じられる、滞在交流型旅行商品を企画・提案しています。「東洋
のアルカディア」を体験できる様々なプランをぜひご利用ください。



詳しくは
ツアー HPを
ご覧ください。



一般社団法人やまがたアルカディア観光局
〒993-0003 山形県長井市東町2番50号
TEL.0238-88-1831 FAX.0238-88-1812
<https://arcadia-kanko.jp/>



公式 HP



facebook



Instagram

いいでカヌークラブを立ち上げた先輩から
後を引き継ぎ、白川湖で水没林を見に行くカ
ヌー体験などを企画して運営しています。ま
た、南陽市にあるレストラン「シックス・ダ
イニング」では、地域の旬の食材を取り入れ
たフレンチを提供しています。
—— 幅広い活動には、どのようなねらいが
あるんですか？
カヌーは、観光向けではあるんですが、む
しろ地元の人達に、実体験を通して、自分た
ちが住んでいる場所の価値を認識して欲しい
なと思って続けています。自分たちで体験し
て納得しないと、外に向けて発信はできない
と思いますから。
レストランでは、例えば、中津川に「雪室
じゃがいも」という特産品があります。雪室
の中で3ヶ月以上熟成してものすごく甘みが
増したじゃがいもです。これを赤湯のレスト
ランで提供することで、食材としての評価が
高まり、飯豊に付加価値が生まれます。地域
間をまたぐことで、改めて気づく価値もある
のではと思っています。
カヌーにしろ、レストランにしろ、魅力あ



まるはち酒店

Nagai City

澄んだ感覚で
日本酒を
感じる酒店



總宮神社の門前にある地酒屋。春夏秋冬、季節ごとに店主が選んだ出来のいい酒が並び、地域の日本酒愛好家が足を運んでいます。銘柄の一つひとつに4代目の大内誠さんが味を言葉にした手書きポップがあり、蔵元のこだわりと酒の個性が伝わってきます。「高価さや希少価値ではなく、本当に好きな日本酒を見つけてもらいたい」という想いから、月に1度1杯300円の角打ちも開催しています。



まるはち酒店

〒993-0087 山形県長井市横町4-25
Tel / 0238-88-2025
営業時間 / 9:00-20:00
定休日 / 日曜
<http://sake-maru8.com>

農家れすとらん
なごみ庵

Nagai City

心と体が
満たされる
お食事



木枠の戸を開き土間を通って居間に上がると、囲炉裏の鉄瓶からしゅんしゅんと湯気が立ち上る、そんな光景が来訪者を迎えます。無農薬野菜を中心に、味噌や豆乳など全て手づくりの郷土料理と創作料理のお膳「なごみ膳」は、健康的で満足度の高いお食事です。専業農家の首野ちえさんと高橋三枝子さんは「様々な人との交流を楽しみたい」と、このお店を開店。自然と笑顔がこぼれる、心あたたまるお食事処です。



農家れすとらん なごみ庵

〒993-0075 山形県長井市成田1445
Tel / 0238-84-7822
営業時間 / 11:30-15:00 (完全予約制、2名様～)
定休日 / 火曜
<https://www.nagomian.net>

はぎ苑

Nagai City

豊富な水の
恵みを受ける
癒しのお宿



水の郷長井の豊かな伏流水を汲み上げた源泉100%かけ流しの温泉宿泊施設。弱アルカリ性の超軟水は産湯にも使えるほどのやさしい泉質で、湯上りの肌の良さが実感できます。山形牛や置賜地方名物の鯉の甘煮など、吟味した地域の食材と長く育まれてきた文化が味わえるのも魅力。敷地内には「卯の花姫伝説」で龍神に化身した姫が化粧直しをしたと伝えられる化粧坂観音堂があり、より深く伝承に触れられる特別なお宿です。



はぎ苑

〒993-0075 山形県長井市成田2170-2
Tel / 0238-84-1387
営業時間 / 9:00-21:00
定休日 / 無休 (温泉は第3木曜定休)
<https://www.hagien.co.jp>

獅子宿
燠亭

Nagai City

手打ち蕎麦と
杵つき餅の
黒獅子の館



長井市に伝わる黒獅子舞。その獅子頭の製作と研究を重ねている獅子頭職人、渋谷正斗さんが打つ蕎麦と杵つき餅がいただけるお店。鯉と昆布の出汁が効いたつゆに細めの二八蕎麦がのどごしよく、弾力あるつき立て餅は5種類の味が楽しめます。築130年ほどの趣深い古民家には、渋谷さんがこれまでに手がけた獅子頭や、研究のために収集した風情の異なる獅子頭が展示してあり見応えがあります。



獅子宿 燠亭

〒993-0021 山形県長井市上伊佐沢2900
Tel / 0238-84-1143
営業時間 / 11:00-14:00
定休日 / 木曜
<http://shishiyado.club>

市街地エリア MAP



arcadia 季刊誌アルカディア

#02
2020年2月発行
(年4回発行)

発行／一般社団法人やまがたアルカディア観光局
編集／株式会社 やまがたアルカディア編集社
写真／船山裕紀 文章／池田将友 上林晶子 (P16～P17)
デザイン／坂井理枝子

next #03
SPRING issue

特集1_水没林と中津川
特集2_若乃井酒造



arcadia

photo map

本誌に掲載されている
写真の場所に行ってみませんか？
そしてすこしの間だけ
スマホをしまつて
イザベラバードが感じた
美しい風景を眺めてみてください。





やまがた
アルカディア
観光局
YAMAGATA
ARCADIA
Tourism Bureau

